

平成24年度第1回江別市立病院経営健全化評価委員会（平成24年8月6日）の概要

平成23年度決算、医師数の状況、平成24年度4月から6月までの経営状況、平成21年度から平成23年度の経営健全化計画と実績の比較、平成23年度の経営健全化計画行動プランの取り組み状況について事務局から説明を行いました。

平成23年度の決算では、外来患者数は予算よりも多く入院患者数は予算を下回りましたが、診療単価が上昇したことなどから、単年度資金収支で約9千万円の黒字となったことについて、委員から、収支の改善が良好に推移しており病院職員の努力がうかがえるとの評価をいただきました。

医師数については、平成24年度当初において、トータルで人数が増えているものの非常勤医師が増え、正職員が減っていることから、引き続き医師の確保を進めていくべきとの指摘がありました。

平成24年度の診療収益の状況では、医療機関において全体的に患者数や収益が低下する傾向にあり、診療報酬改定の影響に関して、入院と外来の区分や診療科ごとに前年比較するなど分析を進める必要があるとの意見がありました。

経営健全化計画については、今後予定している大規模修繕や、看護師の確保に関する質問があり、行動プランについては、個別の取り組みに関し高く評価をいただきました。

そのほか、消費税引き上げ影響の試算、7対1の看護基準、医療・介護制度改革について助言等がありました。